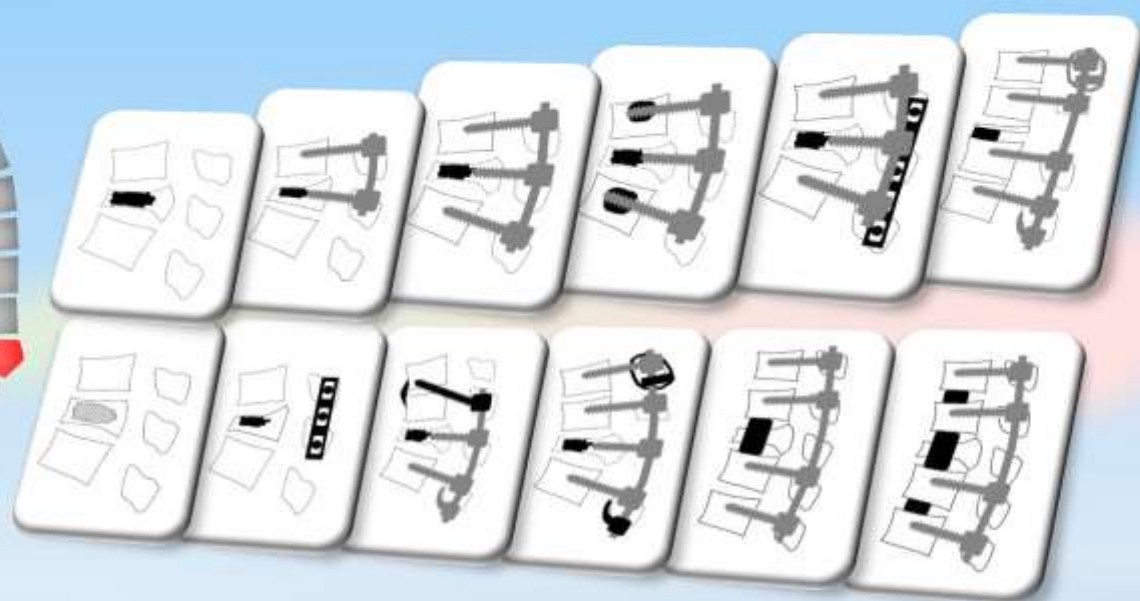




第27回 関西MIST研究会

Minimally Invasive Spine Stabilization

急性期を過ぎてしまった
骨粗鬆性胸腰移行部骨折の手術戦略



日時 2023年10月14日(土) 13:00-18:00

会場 梅田スカイビル タワーウエスト

大阪市北区大淀中1-1-88 TEL 06-6440-3899

参加費 1,000円

当番幹事 石部 達也

医療法人社団 昂会

日野記念病院 滋賀脊椎センター

<http://www.hino-hp.jp/>



当番幹事挨拶 第27回関西MISt研究会開催にあたり

石部 達也

日野記念病院 滋賀脊椎センター長



平素よりご高配を賜り誠に有難うございます。この度、第27回関西MISt研究会の当番幹事を拝命いたしました日野記念病院 滋賀脊椎センターの石部達也と申します。今回の研究会をご案内申し上げます。

骨粗鬆症に伴う胸腰移行部の椎体骨折は、早期診断・早期治療で良好な成績が期待できます。しかし、受診や診断の遅れから偽関節、後弯変形、神経症状に対処せざるを得ないケースに頻繁に遭遇します。

シンポジウム1では「胸腰移行部骨折に対する各術式の利点、欠点、限界点」をサブテーマとして議論します。たたき台として我々の施設で経験した成績不良例などを提示させていただき、その後にエキスパートの先生方をお招きして、各術式の選択基準や手技のコツなどをご講演いただきます。

シンポジウム2では、「骨粗鬆症に負けない医療材料の選択」をサブテーマに選びました。ステント併用椎体形成術や、棘突起プレート、椎弓根螺子を安定させるためのセメントなど新たに選択できるようになった手技についてエキスパートの先生方をお招きして、これまでの成績と率直な使用感についてもお話させていただきます。

特別講演1では、茅ヶ崎中央病院の武政龍一先生をお招きしました。武政先生は高知大学在籍時から椎体形成術や経椎弓根的椎体置換術の報告を多く行ってこられました。その緻密かつこだわりの技術をご披露いただく予定です。

特別講演2では、新潟脊椎外科センター／新潟大学の渡邊慶先生をお招きしております。渡邊先生は、骨粗鬆性胸腰移行部骨折に関して国内最大の多施設研究を報告されています。多くの術式に精通しておられ、脊椎再建術の現状と課題についてご講演をいただく予定です。

コメディカルの方には、施設間での積極的な情報交換の場にしていただきたく、各施設での工夫や取り組みをご発表いただく場を設けました。さらに、例年大人気のワークショップを今年も用意しております。コメディカルの方が生体豚を用いて脊椎固定手技を体験していただくセミナーや、若手医師の方が lateral interbody fusionを中心としたMIStの手技を学べるセミナーも用意しております。

今回は骨粗鬆症に伴う胸腰移行部骨折の手術という狭いテーマではありますが、充実かつ実践的な内容にさせていただきました。多くの方々のご参加と活発な討論を願っております。

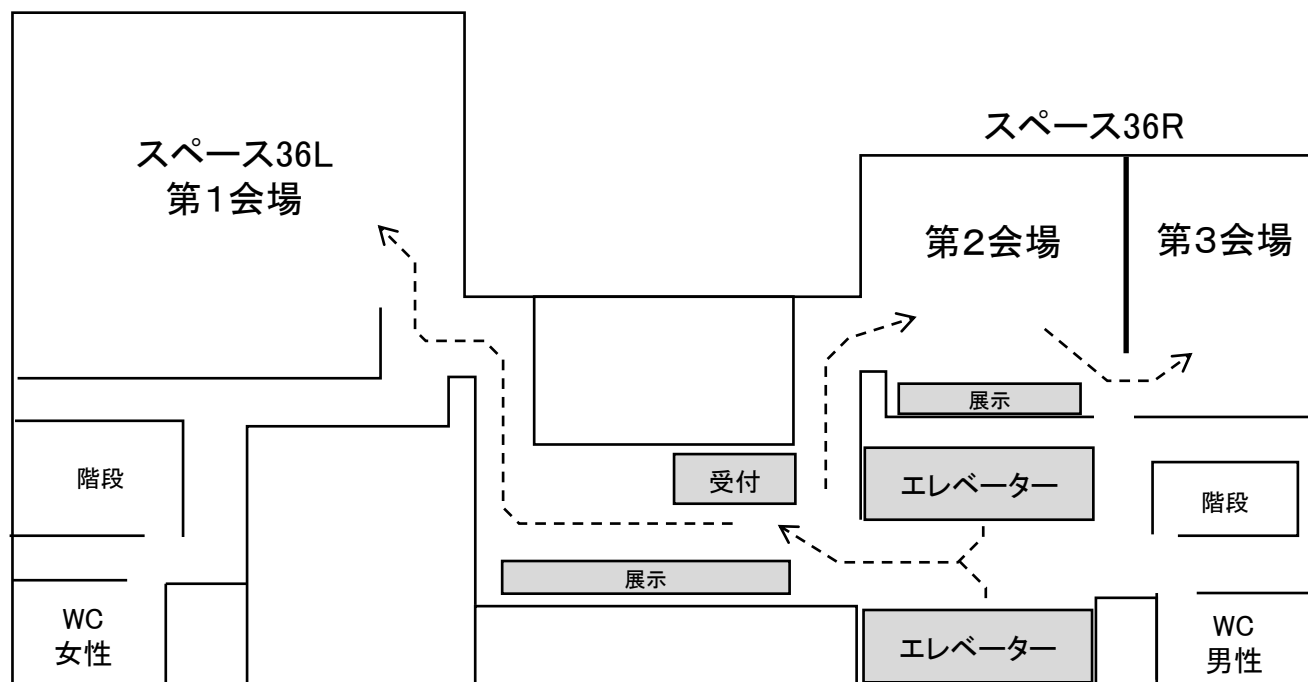
電車でのアクセス



各方面からのアクセス



タワーウエスト36階 フロアマップ (第1・第2・第3会場)



タイムスケジュール

	第1会場	第2会場	第3会場
13:00	開会挨拶		
14:00	13:10-14:30 シンポジウム1		
15:00	14:50-15:50 シンポジウム2		14:30-15:50 ハンズオン セミナー
16:00	16:10-16:45 特別講演1		
17:00	16:50-17:50 特別講演2	16:20-17:40 コメディカル セッション	
18:00	閉会挨拶・写真撮影		
	22階(A-1会議室)へ移動 情報交換会 コメディカルセッションの優秀演題賞発表および授与式		

プログラム

【第1会場】 36階 スペース36L

13:00-13:10 開催挨拶 日野記念病院 滋賀脊椎センター 石部 達也

13:10-14:30 シンポジウム1 胸腰移行部骨折に対する各術式の利点、欠点、限界点

座長：近畿大学奈良病院 戸川 大輔 先生

おおさかグローバル整形外科病院 藤尾 圭司 先生

1. 当院の成績不良例からみた各術式の限界点
日野記念病院 田中 真砂史 先生
2. Balloon Kyphoplastyはどこまで適応可能か？
大阪公立大学 高橋 真治 先生
3. 骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKP単独の限界 ～棘突起プレート併用の治療経験～
兵庫医科大学 都井 政和 先生
4. 骨粗鬆症性椎体骨折後後弯変形に対するlateral access surgeryを用いた前方支柱再建の手術戦略
関西医科大学 石原 昌幸 先生
5. 当院における骨粗鬆症性椎体骨折に対する手術加療
我々の考える BKP PPS 骨切り 椎体置換 の使い分け
香芝旭ヶ丘病院 松森 裕昭 先生

14:30-14:50 休憩20分

14:50-15:50 シンポジウム2 骨粗鬆症に負けない医療材料の選択

座長：府中病院 笹岡 隆一 先生

神戸大学 由留部 崇 先生

1. Vertebral Body Stenting (VBS)の臨床成績、適応とPitfallについて
南和歌山医療センター 延與 良夫先生
2. 骨粗鬆症性脊椎骨折における強力な補強手段としての棘突起プレート
東近江市立能登川病院 増田 尚也 先生
3. 骨粗鬆症脊椎手術におけるBKPセメント塊貫通椎弓根スクリュー法(BKPS法)の実際と限界
京都市立病院 竹本 充 先生
4. Fenestrated screwの小経験から使い方を考えてみた
丸太町病院 槇尾 智先生
5. 骨粗鬆症性椎体骨折に対するfenestrated screwの有用性と注意点
兵庫医科大学 木島 和也先生

15:50-16:10 休憩20分

【第1会場】 36階 スペース36L

16:10-16:45 特別講演1 HOYA Technosurgical株式会社 共催

骨粗鬆症性椎体骨折に対するCPC椎体形成術の現在

座長: 関西医科大学 谷口 慎一郎 先生

演者: 茅ヶ崎中央病院 武政 龍一 先生

16:50-17:50 特別講演2 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社DePuy Synthes Spine 事業部 共催

骨粗鬆症性椎体骨折に対する脊椎再建術の現状と課題:骨形成促進薬の役割も含めて

座長: 丸太町病院 原田 智久 先生

演者: 医療法人愛仁会亀田第一病院 新潟脊椎外科センター 副センター長

新潟大学医歯学総合病院整形外科 特任教授

渡邊 慶 先生

17:50-18:00 閉会挨拶 次回当番幹事 丸太町病院 原田 智久先生

集合写真撮影 「皆様 第一会場にお集まりください」

22階 A-1会議室に移動して

18:15-20:00 情報交換会 「多くの方々との楽しい語らいの場にしましょう！」

コメディカルセッションの優秀演題賞発表および授与式

施設紹介・症例提示など

【第2会場】

16:20-17:40 コメディカルセッション 「脊椎手術にまつわる手術室・病棟での私たちの取り組み」
(講演6分+質疑応答 5分)

座長：和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 中川 幸洋 先生

京都ルネス病院手術室師長 手術看護認定看護師 川田 順也 先生

1. ルネス病院(綾部, 福知山)における手術室での工夫 —2つの病院を通じて—
綾部ルネス病院 神田 美紀
2. 手術室業務のタスクシェア —臨床工学士による手術直接介助の導入について—
東近江市立能登川病院 手術室 奥田 夏美
3. 有効な脊椎マニュアルの作成(スタッフの意識調査を通じて)
丸太町病院 CE部 藤川 拓磨
4. 脊椎手術の前立ちナース指導用DVDを導入して —得られたものと改善すべき点—
日野記念病院 杉本 彩、長橋 昌奈、藤村 理奈、福井 猛、西山 郁子
5. BKPセメント塊貫通性スクリュー(BKPS) —できるかどうかはナース次第—
JCHO玉造病院 神庭 悠介、西尾 歩子、白根 美和、青木 瞳
6. 経皮的椎体形成術(BKP)における充填骨セメントの至適粘調度調整の工夫
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 手術室 望月 香利、木村 有香子、阪中 馨子、
中谷 美香、三木 明美、佐藤 誠治、岡野 和代、仲谷 智亜紀、山口 裕也、中尾 彩乃
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 整形外科/脊椎ケアセンター 中川 幸洋
7. BKPにおける骨セメントを最大量活用するコツと秘訣 —あなたのセメント何g?—
整形外科北裏病院 手術室 大仲 高廣、國見 浩一、中本 博朗、洞口 和平、二河 絵美
整形外科北裏病院 整形外科 北裏 清剛、尾崎 良行
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 整形外科/脊椎ケアセンター 中川 幸洋

※情報交換会で優秀演題賞の発表および授与を予定しています

【第3会場】 36階 スペース36R

14:30-15:50 コメディカル向けハンズオンセミナー

脊椎に触って手術してみよう！ ～大動物の摘出脊椎を用いた手術手技練習～

共催： ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 DePuy Synthes Spine事業部

講師： 堺市立総合医療センター 石井 正悦 先生

14:30-15:50 若手医師向けハンズオンセミナー

XLIFに挑戦してみよう！ ～モデルボーンを用いたXLIF手術手技練習～

共催： ニューベイシブジャパン株式会社

座長： 大室整形外科 大室 智士 先生